



あの感動、 次はニッポンで！

TOKYO●2020
オリンピック・パラリンピックを日本で



今年9月に2020年の開催都市が決まります。東北の被災地に聖火ランナーが走る、子供達に一流のアスリートが活躍する場を見せる。日本中が「おもてなし」の心をもって世界の方々を迎え入れる……。

招致機運も高まり、東京での開催を望む支持率は73%になりました。

招致を実現して、日本と日本人の心を元気にしたい。それが私たちの願いです。

あなたの都政へのご意見・ご要望をお聞かせ下さい！



都政改革 断行中！



発行：東京都議会自由民主党
広報委員会

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL.03-5320-7212 FAX.03-5388-1782

成功させよう！



スポーツ祭 東京2013

第68回 国民体育大会
【2013年9月28日～10月8日】
第13回 全国障害者スポーツ大会
【2013年10月12日～14日】

主な内容

○2020年オリンピック・パラリンピックを日本で
○東京都議会自由民主党 過去4年間の実績(平成21年度～24年度) 今後の取組み



都議会自民党 活動レポート

責任ある都政を推進



平成25年臨時増刊号

都議会自民党は
安全・安心、元気な
TOKYOへ全力投球
しています。

東 京都政は日本の政治の縮図です。先の都議選以来、国政同様都政も困難な3年数か月に直面してきましたが、私たちは常に都民のための都政を追求し続け、全力で努力してまいりました。その結果、堅実な予算に裏付けられた、安定した施策の実現が可能となりました。

都 政の課題は多岐にわたります。都民の命を守る防災対策、暮らしの安心に直結する福祉・医療政策、賑わいや活力を生み出す産業政策、快適な都市生活に不可欠な上下水道と交通インフラの整備、次世代を育て心に豊かさ・潤いをもたらす教育・文化政策、健康づくりや若者に夢と希望を与えるスポーツ振興など、私たちは都民目線で政策の方向性を定めてきました。

私 たちの政策は、現場を大切にすることから始まります。財源を省みず声高に給付を要求したり、後年度負担の大きさを考えずに、人気取りのバラまき施策に手を染めないことが、責任政党としての役割と考えています。

これからも、都議会自民党は過去の積み重ねを大切に、現在と将来の東京に責任をもち、都民の皆様の安全、安心、安定をキーワードに全力を尽くしてまいります。



都議会自民党 過去4年間の実績

平成21年度
2009

◆外環道の事業着手決定 (H21.4)

東京の幹線道路整備は、交通渋滞解消や環境改善、防災力向上に必要不可欠。特に外環道は整備効果が絶大で、早期完成が強く求められてきました。

都議会自民党は、都や都議会外環議連とともに粘り強く国への要請活動を行なった結果、約40年間凍結されていた外環道（関越道～東名高速間）の事業着手を決定させました。

◆築地市場の移転関連予算可決 (H21.3)

開場以来70年余りが経過した築地市場は、老朽化により衛生と安全性に多くの不安を抱えています。

都議会自民党は、業界団体の大多数から早期移転の要望を受け、豊洲への移転関連予算案を可決させました。現在は土壌汚染対策工事に万全を期し、平成27年度の新市場開場に向け全力で取り組んでいます。

平成22年度
2010

◆京浜三港が国際コンテナ戦略港湾に (H22.8)

平成21年、国は選択と集中により国際競争力のあるコンテナ港湾をつくることを決めました。

都議会自民党は、全国の港湾の中でも東京・横浜・川崎の京浜三港こそが選択と集中の対象であるべきと考え、三港連携のための3都市議会による京浜港広域連携推進議連結成に奔走。京浜三港が国際コンテナ戦略港湾に選定されました。

◆「緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化を推進する条例」可決 (H23.3)

建物の倒壊で重要な道路が遮断されると、避難、救命、復旧に大きな支障をきたします。

都議会自民党は、まず緊急輸送道路沿道建物耐震化制度を実現。第一次緊急輸送道路沿道建物の耐震診断を義務づけ、耐震改修費用等の助成制度も拡充しました。現在、もう一段踏み込んだ制度の充実に取り組んでいます。

平成23年度
2011

◆震災がれきの受け入れ (H23.11)

被災地の復興のため、都は全国の自治体に先んじて、岩手県の災害廃棄物を受け入れました。



その後、市区町村とも力をあわせ、宮城県も含め3年間で50万トンの災害廃棄物受け入れを決定。都議会自民党は、都の決断と市区町村の取り組みに対して、迅速に補正予算を可決し、実行に結びつけました。

◆「木密地域不燃化10年プロジェクト」策定 (H24.1)

東京の防災上最大の弱点と言われる木造住宅密集地域。その改善のため、都議会自民党はこれまでも様々な提案を行ってきました。

これを受け都は、「木密地域不燃化10年プロジェクト」を策定。「不燃化特区」の創設、および整備地域内の延焼遮断帯を形成する都市計画道路(特定整備路線)の整備を精力的に行うこととしました。

平成24年度
2012

◆電気料金値上げ幅の圧縮 (H24.5)

都議会自民党は、東電の電気料金の値上げ方針に対して再三にわたる要請活動を行ない、家庭や中小企業向け電気料金の値上げ幅を圧縮させました。

また、中小企業への節電アドバイザー派遣や蓄電池導入の助成なども実現。今後は国とも連携し、安定した電力供給とエネルギー政策の実現に取り組めます。

◆地域防災計画修正版の策定 (H24.11)

都議会自民党は、東日本大震災発災直後に復旧・復興対策本部を設置し、平成23年11月に「防災対策強化に向けての提言」、平成24年8月には「地域防災計画の修正に向けた具体的提言」を都に提出しました。

これを受け都は、新たな被害想定を踏まえた課題や今後の到達目標を明確にした地域防災計画の修正版を策定しました。



都議会自民党 今後の取組み

子育て支援と教育改革

◆未だ都内には7,000人以上の待機児童がいます。いじめや体罰の根絶、国際的な視野を育てる教育も不可欠です。

1. 独自の認証保育所の整備や新たな取組み
2. スクールカウンセラーの小・中・高全校配置
3. 高校生の留学支援で国際感覚の涵養

優しさと温もりの福祉

◆国民の4人に1人が高齢者となる超高齢社会の到来は間近。多様な地域福祉サービスの充実が急がれます。

1. 特養・老健・ケア付き住宅の整備で安心の高齢社会
2. 障害者総合支援法に基づく更なる支援・基盤整備
3. グループホーム増設や就労支援等、通勤寮・児童養護施設等の機能強化



日本一質の高い医療制度の構築

◆医師・看護師不足は深刻です。医療資源と人材の有効活用で、あらゆる事態への備えを充実させる必要があります。

1. 都独自の計画的な人材養成
2. 5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）5医療事業（救急・災害・へき地・周産期・小児）の取組み強化
3. スポーツ振興で健康づくり。元気で長生きの高齢化社会



環境・省エネ日本一の東京

◆高度な都市機能と豊かな自然が共生する東京。知恵と技術で、環境に優しい東京を復活させなければなりません。

1. 1,000haの新たな緑の創出・街路樹100万本の整備
2. 自然エネルギーの積極活用で、環境負荷の少ない省エネ都市建設
3. 廃棄物の発生抑制とリサイクルで省資源・循環型社会を構築



▲街路樹の充実を



▲耐震化された校舎

命を守る防災・減災対策の強化

◆首都直下型地震等への対策は不十分です。高度防災都市づくりを最優先しなければなりません。

1. 学校や緊急輸送道路沿道建物の耐震化
2. 不燃化特区と特定整備路線の重点的な取組み
3. 消防団の人材確保、待遇改善、装備充実などの支援



中小企業等、都内産業を元気に

◆都内企業数の99%は中小企業です。中小企業が元気になるのはじめて東京の活力が生まれます。

1. 事業用地の固定資産税軽減、制度融資メニューと経営診断の拡充
2. 人材確保・技術力向上を始め、創業・事業継承等の更なる支援
3. ものづくり産業や小売商業等の活力向上へ支援策の充実

